

出題 蛭雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

## 問題【英語】

次の絵の(1)と(2)に当てはまる、3語の英文を入れましょう。



## 豆知識 雑学コラム

## 体で学ぶ入門英語

私が中学校1年生のときの実体験です。教科書(NEW HORIZON)を机の上に置いて、英語の授業を少しワクワクしながら待っていました。先生が教室に入ってきて、授業開始のチャイムが鳴り、号令などを終えた後。先生はいきなり、自分の胸に手を当てて「I」。続いて生徒1人を手で指し、その人を見て「You」。今度は当てられた生徒が発話する空気になりました。先生のジェスチャーに従い、自分の胸に手を当てて「You」。すかさず先生は「違うよ」といったような身振りをし、再度自分の胸に手を当てて「I」。

最初は何がどういうことか、さっぱり分かりませんでした。しかし段々、「こういうときにはIで、こういうときにはYou」なんだ、というのがわかります。同級生も同じように徐々に分かってきて、IとYouはわかった、という空気でした。すると次は、男子生徒1人を手で指しているけれども、その人は見ずに「He」。今度はどういうこと? となりながらも、さっきとの違いを考えてHeやSheを使えるように…。一通りの内容が終わったら、今回の問題のような絵が描かれたプリントが配られ、フキダシに当てはまる英語を書く、という授業でした。授業中、指示以外はすべて英語です。

皆さんは、こういった英語の授業を受けたことがありますでしょうか。ほとんどの人がないと思います。公立の中学校に通っていたのですが、そういった授業を受けてきました。英単語や英文を訳して考える、ということは一切無く、逆に高校に入ってから授業で戸惑ったのを今でも覚えています。普通の中学校の英語の授業であれば、英文を日本語に訳して考える、といったことが多いのではないかと思います。英語の知識は難なく頭に入ると思うのですが、一方でなかなか英語を使えないまま終わる、ということも事実ではないでしょうか。ただ知識として頭に入れるのではなく、「いつその知識を使うのか」というシチュエーションも合わせておさえましょう! こういったことは英語に限ったものではありません。数学や理科でも、「その知識を引き出すキーワード」と一緒に覚える、「なぜそうなのか」理由も含めて理解する、ということをする、と使える知識に変わります。

## 【解答】

(1) I am here.  
(2) She is there.